

令和5年度 第1回 高山市総合計画審議会 会議録（要旨）

日 時：令和6年2月13日（火） 10時00分～12時00分

場 所：高山市役所 2階 201・202会議室

出席者：高山市総合計画審議会委員 26名（オンライン出席2名を含む）

（欠席者4名） ※別紙名簿のとおり

高山市副市長、総合政策部長、総合政策課長、総合計画策定室長、総合政策課担当監、総合計画策定係長、総合計画策定係担当、秘書交流課長、生涯学習課長

会議内容（次第）

1. 開会

市あいさつ（西倉副市長）

2. 議事（議長：堀会長）

- (1) 地方創生交付金事業の令和4年度評価・検証について
- (2) デジタル田園都市国家構想交付金事業の令和5年度取組状況について

資料に基づき事務局が説明

桑谷委員

・「エンジン02in岐阜」の開催内容は非常に良かった。改善点としては、参加できる人数が少なかった講座があったことや、周知方法があまり目立たなかったことである。

(1)(2)について了承

- (3) 第九次総合計画策定のスケジュール
- (4) 第九次総合計画策定に向けて

資料に基づき事務局が説明

丸山委員

- ・能登半島地震の復興がなかなかすすまないのは、道路事情もあるが、高齢化も1つの要因であると聞く。次期計画を策定するにあたり、子どもや若者を増やすことも大事であるが、高い高齢化率を念頭に置いた計画が必要である。

議長（堀会長）

- ・人口推計で示されている推計値以上に少子高齢化がすすむ可能性が高く、次期計画に大きく影響すると思われるため、政策等十分な検討が必要である。

岩塚委員

- ・まちづくり協議会の活動に参加したことがある市民の割合が2019年から最新値が下がっているが、私自身が活動するなかでは、増えているような印象を持っているが、下がっている原因について分析していれば教えてほしい。

沼津総合計画策定室長

- ・今年度、地域との意見交換をする中で伺った話では、まちづくり協議会が設立してから10年近く経過し、協議会の活動が非常に浸透してきたという意見がある一方で、高齢化により、地域の担い手が非常に少なく、世代交代がすすんでないという意見も聞いた。

清水委員

- ・まちづくり協議会の運営に対して、コーディネーターのような方を市からの補助で配置できないかと市長と語る会の中でお願いした。
- ・森林を活かしたまちづくりができないかと考える。森林からは多くのマイナスイオンが発生するため、他地域と比べて、マイナスイオンが充満している地域であることをキャッチコピーに、高山市を違った方向でPRできないかと考える。マイナスイオンを数値化することで、今まで訪れなかったところへも人が訪れるようになるのではないかと思う。

議長（堀会長）

- ・森林環境譲与税を活用しながら、森林を活かしたまちづくりをすすめてほしい。

唐谷委員

- ・市の所有する山林について、整備が行き届いていないところがある。整備された山林は、比較的災害が少ない。
- ・観光とマッチングして、山林を活用できないかと考える。今までと違った切り口で森林空間活用を見出してほしい。

長瀬委員

- ・今後の少子高齢化を考えると、広大な面積を有する高山市のインフラを現状のまま維持していくことは困難と考える。地域のゾーニングも含めこれからの将来を見据えたインフラに関する維持改修計画を考えていく必要がある。従事者が減るなかでは官民連携した取り組みが重要となってくると思うが、市の考えを教えてほしい。

清水総合政策課長

- ・公共施設等総合管理計画を策定して、維持するものや縮小、廃止するものなど公共施設の管理についてはできるところからすすめているところである。

議長（堀会長）

- ・市行政経営推進委員会において、公共施設の減少を踏まえた更新について方針を伺っているところではあるが、スピード感を持った対応が必要と考える。

笠井委員

- ・各まちづくり協議会においては、最初は何をやって良いかのかわからないままスタートし、同じ方向を向いて活動していたかは疑問だった。昨年度協働のまちづくり指針を策定し、一定の方向性は見えてきたのではないかと思う。
- ・私が所属する大八まちづくり協議会も人材不足で、活動するにも限度があるため、事業者や団体に協力してもらい活動しているところである。現在、小さな講座をたくさん開催して、地域住民同士の絆を含めることを目的に活動している。地域が何を望んでいるのかを把握することが大切であり、この地域に住んで良かったと思える地域づくりをみんなで取り組んでいきたい。

蒲委員

- ・国府町まちづくり協議会は国府町住民に対してアンケートを実施したが、まちづくりに対して様々なことを望まれている。福祉や防災、歴史づくりなど期待されるものが増える一方で、担い手不足の現状もある。今後の活動についてどのように実施していくかなど、地域課題の解決に向けて工夫しながら取り組んでいきたい。

川原委員

- ・地域の担い手の育成や長期間にわたり地域活動に関わってくれる方を選定することが困難である。町内会への加入率低下も課題であるため、今後検討していく必要がある。

議長（堀会長）

- ・ 少子高齢化により、地域の担い手不足が顕著に現れている。まちづくり協議会や町内会の運営については、今後何かしらの指針を検討する必要がある。

中澤委員

- ・ 市においてラインを活用した情報発信を実施しているが、現在のライン登録者数を教えてほしい。
- ・ 就職や結婚などのライフイベントを伴って市に戻ることを考える人もいると思うため、市外に転出した若者と接点を持つことが必要と考えるが、市としてはどのように考えているのか教えてほしい。

沼津総合計画策定室長

- ・ 市のライン登録者は現在、約 16,000 件である。ラインだけでなく、他の SNS など様々な媒体での情報発信が大切と考える。
- ・ 若者との関わりについては企業説明会等について情報発信をしているところである。また、村半などを活用した取り組みを通して、若者との関係を築いていきたい。その他として、幼少期から地域の産業、自然や文化、伝統など高山市のことを深く知ってもらうことも必要と考える。

蓑谷委員

- ・ 幼少期から地域を知ることは、将来、若者が戻ってくる一つの方法として大切なことであると思う。都会に住んで心が病んでしまう若者や都会が良いと思わない若者も多いと聞く。また、アンケートなどで高山は給与が低いというような結果も出ているが、アンケートを回答する企業にもよると思う。商工会議所でも聞き取り調査などを実施したが、市内の賃金は比較して低いとは感じなかった。

議長（堀会長）

- ・ 八次総合計画の施策評価に記載の雇用者報酬や市内総生産額の最新値が 2020 年である。現状と少し乖離があるため、今年度作成している産業連関表の数値も踏まえ、次期計画を策定してほしい。
- ・ 市内においては最低賃金では従業員が集まらない状況であるため、その影響で、賃金も上がってきている。また、コロナ禍を明けて、市内の産業、経済はある程度上向きに回復してきているが、最新のデータを踏まえながら分析していく必要がある。

鴻巣委員

- ・コロナ禍以降、農業においては新規就業者が増加している。支所地域へも農業をするため、移住するケースもある。地道な取り組みが必要である。10年後のビジョンを描きながら全体を考えていく必要がある。

村上委員

- ・人口が減少しているのにも関わらず、ごみが増えていくことは例年の課題と感じている。ごみを減らす活動や取り組み方法をもっと周知してほしい。クリーン作戦などの活動もあるが、単にごみを拾うイベントではなく、参加者が楽しみながら取り組めることも考える必要がある。

議長（堀会長）

- ・環境面に関連して、次期計画にも関係してくると思うが、広大な森林面積を有するこのエリアにおける二酸化炭素実質排出量ゼロの取り組みをしっかりと打ち出していく必要がある。環境面においても飛騨高山は美しいということを市民と共有するため、周知していく必要がある。

大野委員

- ・空き家が増えているが、50年前から景観について方針を定め、取り組んでいるため、引き続き保全していきたい。
- ・これまでの単に見るだけの観光だけでなく、森林・自然の体験を観光につなげていかないといけないと考える。
- ・市民全員が同じ方向を向けて取り組むことが必要で、全員が興味を惹くような思い切ったイベントの開催をしてはどうかと考える。

倉坪委員

- ・人権擁護委員協議会において、多様性についての話題が上がる。次期計画においては、外国人居住者、LGBTQ に対しても触れてほしい。

桑谷委員

- ・郷土教育については他自治体に比べてもすすんでおり、良い教育環境であると思う。
- ・観光についてはブラッシュアップが必要かと思う。先人達が培ったブランド力に頼るだけでなく、魅力ある観光地となるよう貪欲に取り組んでほしい。

清水委員

- ・わかりやすいという観点から数値化して見える化することが大切である。

堀会長

- ・今回の資料の内容やその他意見等があれば後日、事務局まで問い合わせをしてほしい。

(3)(4)について了承

3. その他

特になし

4. 閉会

市あいさつ（上田総合政策部長）

令和5年度 第1回 高山市総合計画審議会 委員名簿

任期:R4.6.1~R6.5.31

No.	団体等名称	役職等	氏名	出欠(2/13)
1	高山市観光連絡協議会	会長	堀 泰則	○
2	高山商工会議所	副会頭	蓑谷 雅彦	○
3	高山市商店街振興組合連合会	副理事長	松葉 早百合	欠席
4	高山金融協会	会長	沖本 直	○
5	連合岐阜飛騨地域協議会	事務局長	谷口 寛子	○
6	高山市農業委員会	会長	鴻巣 明久	○
7	飛騨農業協同組合	代表理事専務	坂井 昭夫	○
8	飛騨高山森林組合	代表理事組合長	唐谷 清司	○
9	社会福祉法人高山市社会福祉協議会	事務局長	丸山 永二	○
10	高山市民生児童委員協議会	委員	村中 美耶子	○
11	特定非営利活動法人飛騨高山わらべうたの会	理事長	岩塚 久案子	○
12	高山市連合長寿会	副会長	清水 健一	○
13	高山身体障害者福祉協会	理事	小林 幸長	○
14	(一社)高山市医師会		加藤 早千代	欠席
15	高山市教育委員会	委員	桑谷 康弘	○
16	高山自動車短期大学	学長	坂井 歩	○
17	高山市社会教育委員会議	委員	嶋田 喜美子	○
18	(一社)高山市文化協会	理事	北平 真由美	欠席
19	高山人権擁護委員協議会	事務局	倉坪 栄一	○
20	高山市町内会連絡協議会	会長	川原 正巳	○
21	大八まちづくり協議会	会長	笠井 新治	○
22	国府町まちづくり協議会	会長	蒲 誠	○
23	一般社団法人高山青年会議所	理事長	中澤 淳	○
24	高山国道事務所	所長	東 佑亮(代理)	○
25	高山市快適環境づくり市民会議推進委員会	委員	村上 千恵	○
26	たかやま林業・建設業協同組合	専務理事	長瀬 雅彦	○
27	高山市景観町並保存会連合会	会長	大野 二郎	○
28	(一社)岐阜県建築士事務所協会	飛騨支部長	仲 康信	欠席
29	高山市消防団	団長	西 明浩	○
30	岐阜新聞・岐阜放送ひだ高山総局	総局長	平田 成範	○